

12月8日・13日 6年生 総合的な学習の時間 交流会

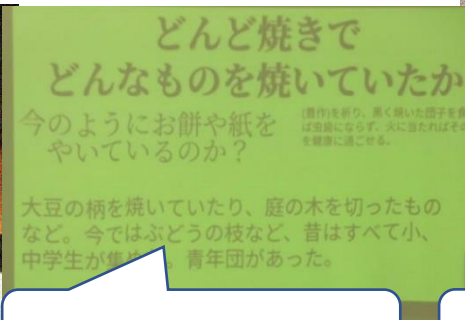
楯形地区中学校区一貫教育の中で、小学校6年生同士がこれまで学習してきた総合的な学習の時間の取り組みをオンラインで交流発表しました。お互いの学習の様子を発表し合うことで、他校の取り組み内容やその様子を知ることができました。

① 小笠原小学校6年生「小笠原のまちの昔の様子」

学校行事・商店街・学校給食・道祖神と祭の4グループの発表がありました。どのグループも本や資料を調べたり、インタビューしたりしたことをスライドにまとめていました。子どもたちは、スケートリンクや文房具、クジラ肉や脱脂粉乳、道祖神の数や種類に興味を示し、質問したり感想を伝えたりしていました。



感想を打ち込んでいます。

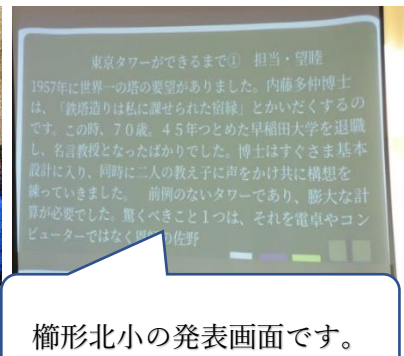


小笠原小の発表画面です。

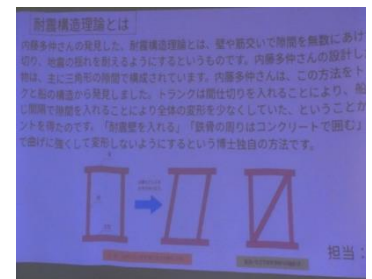


タブレット越しに質問をしています。

② 楯形北小学校6年生「東京タワー」「内藤多仲博士の造った建物の設計」「内藤多仲博士の造った建物」「内藤多仲博士の名言・受賞歴」



楯形北小の発表画面です。



北小からは郷土の偉人である内藤多仲博士や東京タワーについて調べたことを発信しました。質問された内容で、すぐに答えられない場合は、他のグループも協力して答えていました。こんなところにも北小の良さが表れていました。6年生の発表でのキーワードは、「1957年から1年半で完成」「70歳で図面1万枚を作成」「地震や台風にも強い設計」「回転や振動

に強いトラス構造」「耐震構造」「総工費28億円」「多局の電波塔を一つにまとめる」「エッフェル塔7200トン、東京タワー3200トン」「日本興業銀行、歌舞伎座、通天閣」「積み重ね積みかさねてもまた積みかさね」「高登彼岸」「紺綬褒章、勲二等旭日重光章、NHK放送文化賞」です。

代表者が聞きとりやすい発表をすることができました。調べたことに関して多くの質問や感想を返してもらえたことが成果としてまとめられました。